

2022年4月12日発行

22-15号

（http://www.jremnant.com/）

現場から（最近のニュースから）

**人間万事塞翁が馬**

千葉ロッテマリーンズの佐々木朗希投手が10日、オリックス・バファローズ戦で驚異の19奪三振を披露し、28年ぶり16人目となる完全試合を史上最年少で達成しました。「令和の怪物」と言われる佐々木投手は、高校時代から163km/hを投げるということで注目されていました。高校野球で甲子園に出るかと思われていたのですが、岩手大会決勝戦において登板することなくチームが花巻東高校に2-12で敗れ、大船渡高校はあと一歩のところで35年ぶりの甲子園出場を逃しました。そのとき、大船渡高校の國保陽平監督は「3年間で（佐々木が）一番壊れる可能性があると思った。故障を防ぐためですから。私が判断しました」と登板回避の理由を説明しました。これに対しては、賛否両論が繰り広げられ、大きな話題になりました。また、ロッテに入団してからも、すぐに実戦登板することはなく、肉体強化を図る1年となったと言われています。

今回、完全試合を達成したあと、高校時代に無理をさせて身体を壊れないようにさせた監督や、入団後すぐに登板させずに温存したロッテが報われたように書かれている記事があります。特に高校時代に登板回避させたときには、当時の監督、高校に数多くの批判の声が寄せられ、高校には250本もの抗議の電話があったということです。しかし、その時に温存していたことが、今回の快挙につながったという記事もあります。（4/12女性自身＜佐々木朗希投手　当時は監督に批判殺到…完全試合達成で報われた3年前の「登板回避」＞）

すばらしい記録を達成したのは、たしかなことです。また、高校時代に無理をしたゆえに、プロになってからも故障してしまった選手もいます。高校以前の少年野球から、無理があるのだから、改善すべきだということを論議されることもあります。ただ、それは「結果が出た」からの意見です。岩手の大会に出て、高校野球で活躍していても、今回のような記録を達成することはできたかもしれません。また、今後、佐々木投手がどうなるのか、だれも予測できません。

「人間万事塞翁が馬」ということばがあります。＜昔、中国の北辺の老人（塞翁）の飼っていた馬が逃げたが、後に立派な馬をつれて帰ってきた。老人の子がその馬から落ちて脚を折ったが、そのために戦争に行かずにすんだ。このように人生の吉凶は簡単には定めがたいことをいう「淮南子‐人間訓」の故事による格言。（精選版 日本国語大辞典「塞翁が馬」の解説より）＞

目の前のことが良いと思えたら、すごく喜び、悪いと見えたら、なにが悪かったのかと考えて、悪いと思える相手を批判することは、人生全体を見たときに、真実ではなく、無駄なことが多くあります。人生の良い悪いは、そんなに簡単に決められることではありません。もっと確実な、永遠に変わらない基準で、いまのできごとを判断する必要があるのです。では、その確実な、永遠に変わらない基準はあるのでしょうか。そのことについて、いっしょに見てみませんか。

救いの道

だれでも幸せになって、うまくいきたいのに、なぜ人生がこんなにも苦しくてつらいのでしょうか。

予期せぬ事故にあい、やることなすこと、すべてうまくいかず、会社ではやりがいどころか、仕事と人に疲れるばかりです。学校は、もはやいじめの天国になりつつあります。家庭内は冷たい風が吹き、一つ屋根の下でばらばらになり、実際に崩壊しているところも少なくありません。そのうち体は病気になり、心も病んでしまい、眠れない夜が続きます。お酒や薬に頼り、ギャンブルや快楽に走ってみても答えはありません。わらにもすがる思いで占いをして、おふだやお守りをつけてみますが、解けそうにもなく、どんどんひどくなるだけです。

ときには、表では他人がうらやむほどの成功をおさめたのに、裏は穴が開いてもれていくし、隠れた問題でなげき、ため息をつきながら人生のむなしさを感じています。胸にはぽっかりと穴が開いて、埋められません。とても憂うつになって、時々、自殺の衝動にかられます。幻聴や幻覚に悩まされるときもあります。

なぜこうなったのでしょうか。

それは、人が神様を離れているからです。魚が水を離れ、木は土から根を放り出すと枯れて苦しみ死んでいきます。人は神様に会って神様とともにいるべきたましいを持つ存在です(創世記1:27)。ですから、神様と出会う時、すべての問題が解決され、新しい人生が始まります。しかし、人は罪を犯して神様を離れてしまい、二度と神様に会うことができなくなりました。そのときから、目には見えない暗やみの力が、人を運命の力に閉じ込めて、苦しめて滅ぼしているのです。それで、どんなに暴れても抜け出すことができません。どんどん疲れはてて倒れるだけなのです。

神様は苦しみの中にいる人を愛し、この運命の泥沼から抜け出して、神様に出会うことができる道を開いてくださいました。その道がイエス･キリストです。イエス･キリストが罪人の私たちの身代わりとなって、十字架を背負い、すべての罪を赦してくださり(ローマ5:8)、私たちを苦しめていた暗やみと呪いの勢力を完全に打ち砕いて勝利なさいました(Ⅰヨハネ3:8)。そして言われます。「わたしは道であり真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれ一人として神に会うことはできません」(ヨハネ14:6)イエス･キリストは神様に会う道となりました。「疲れて重荷を負っている人はわたしのところへ来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます」(マタイ11:28)と私たちを招いておられます。

もうこれ以上、苦しみの人生にとどまっている理由はありません。道であるイエス･キリストを信じることで、神様に会うことができます。「まことに、まことに、あなたがたに告げます。わたしのことばを聞いて、わたしを遣わした方を信じる者は、永遠のいのちを持ち、さばきに会うことがなく、死からいのちに移っているのです」「この方を受け入れた人々、すなわち、その名を信じた人々には、神の子どもとされる特権をお与えになった」だれでもイエス･キリストを救い主として信じ、心に迎え入れれば救われます。下の「受け入れのお祈り」を通してイエス・キリストを心に迎えることができます。

「愛の神様、神様の驚くべき愛と、救いの計画を感謝します。今、私は罪人であることを

認めて、悔い改めます。私の心の扉を開いて、今、イエス・キリストを私の救い主、私の

神様として受け入れます。私の罪を赦してくださり、私を救ってくださったことを感謝

いたします。これからは、神様のみこころに従って生きる者にしてください。イエス・

キリストの御名によってお祈りします。アーメン」

相談のある方は、いつでも連絡ください